

津山ファミリー・サポート・センターは、子育て中の家庭を地域で支え合う有償のボランティア活動です

津山ふぁみ・さぼミニ通信

No.66 2021/2月



新型コロナウイルスの流行により、想像もしなかった不安で不自由な生活を送ることになって1年以上が過ぎました。その上、厳しい寒さも加わり、身も心も縮こまるような今年の冬でしたが、ファミ・サポの会員の方からは元気が出るお話を伺いました。

保育園児の兄弟を時々預かってくださる提供会員さんのお話、「二人を見ているとかわいいのはもちろんだけど、預かる度に成長していくようすにはびっくりさせられるし、とても興味深いの。だから、これから保育の勉強を始めてみようかと思っているのよ。」とのこと！その前向きな姿勢には感心させられました。さらなるパワーアップを私たちアドバイザーも応援しています。

今のような気が滅入りがちなきこそ、楽しいことすてきなことをみつけられると良いですね。中面の「会員のページ」のみなさんのエピソードでもお楽しみください。



津山市が行っているファミリー・サポート・センター事業を圏域で活用しようと、令和元年7月に最初に鏡野町が仲間入り、翌年4月から久米南町、美咲町が加わりました。会員登録は、センターや各町役場でできます。

鏡野町

(保健福祉課)

ファミ・サポの活動に参加して1年7ヶ月が過ぎました。当初は会員も数名で、依頼内容も送迎のみでしたが、今ではサブ・リーダーさんも誕生し、会員数26名、送迎だけでなく預かりでの利用も頼まれます。核家族が増加している中で、近隣に頼れる家族などがいないご家庭も増えています。仕事や家事・育児に奮闘しているご家庭に利用いただけるよう、今後もファミ・サポの周知広報をしたいと思っています。

津山ファミリー・サポート・センター

力を合わせて子育て世帯の手伝いを！

美咲町

(教育委員会)

美咲町では、広報誌で会員を募集したり、小さな集まりで提供会員募集の説明会を開催しています。町の担当課としては、依頼会員のニーズに応えるためには、各地区に多くの提供会員がおられることが安心につながると考えます。そのため、提供会員への登録が各地域で浸透し、ファミ・サポの認知度を高めることが必要と考えます。また、さまざまな機関と共に依頼会員を支えることで、子育てにおいて親を孤立させないようにサポートしていきたいと思っています。

久米南町

(保健福祉課)

久米南町では、当初なかなか登録がなく、「ふぁみ・さぼミニ通信」で皆さんの活動を拝見するだけでした。依頼会員さんの登録があったのちには、同じ町内で提供会員さんをお願いしたところ快く引き受けていただき、とても感謝しています。引き続き、ファミ・サポ事業によって、地域の中でお互いに助け合い関わることができるよう、センターのアドバイザーさんと協力していきたいと思っています。